

2020年3月

第114号

# ぱれっと



(株)北日本ベストサポート  
Tel. 018-883-1888

## 新型コロナウイルス（新型肺炎）

中国武漢市で最初に発生したとされる「新型コロナウイルス」の感染状況が連日マスクミによって報道されている。目に見えない細菌との戦いで今後どのような軌跡を辿るのか全く予断を許さない状況となっている。

2月24日現在感染者は、国外78,045人、国内147人、クルーズ船634人、死亡者は全体で2,462人となっている。

今回の騒動の発端は、中国武漢市で新型肺炎が蔓延し始めたことによる。武漢市の鉄道をはじめとする交通機関の封鎖が大きく報道された。日本ではこれを受けて中国湖北省からの入国拒否とする一方、中国当局といち早く交渉、武漢市に住む日本人の帰国希望者へのチャーター便などによる帰国を実現した。

不可解なのは中国当局が「新型肺炎」が流行の兆しが見えているにもかかわらず情報統制を行った疑いがあり、WHO(世界保健機関)も中国の対応に合わせた形で「緊急事態宣言」を遅らせたほか、テドロス事務局長は「中国は過去に例を見ないほど素晴らしい対応をしている」と褒めたたえた。

中国武漢市の病院に勤務していた眼科医李文亮氏が12月30日、大学の同級生らとのアプリで「SARS」の感染者がでたと書き込んだところ、後日、公安当局に呼び出され「デマを流した」と処分を受けた。李氏は後に自ら新型肺炎に感染し、2月7日に死去した。李氏は、病床から「健全な社会は、一種類の声しかないということであってはならない」と病床から訴え続けた。中国では「勇気あるホイッスルブロー(告発者)」として英雄視されている。

国内ではクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の対応で苦慮してきた。同船は1月20日に横浜を出航し2月3日に横浜に戻った。途中、香港に下船した男性の感染が判明したため、大規模な検疫を開始した。しかし、最大限の検査を実施したとしても1日あたりの検査数には限度があり、乗客・乗員3,700名の全員検査も、また、下船させて収容するにしても施設確保が困難視された。日本政府は感染者を水際で食い止め国内感染者を最小限に抑えるために懸命の対策を講じてきたが結果的に感染者が日を追って増加し死亡者が出るなど各国から日本の対応に批判の声が高まっている。

国内でも東京都や和歌山県などで感染経路の特定が困難な新たな「市中感染」とみられる感染者が出始めており、「国内流行」が懸念されている。天皇誕生日の一般参賀の中止や東京マラソンの一般参加者の出場を取りやめるなど各地でのイベントの中止が相次いでいる。経済的には中国の工場稼働率が低下し、旅行者も全世界で減少している。新型肺炎の動向が今年度の世界経済を大きく左右しかねないだけに「感染しない」「感染させない」取り組みを強化し、早期の騒動収束が望まれる。



## 生きるとは燃えることなり

### 祈る

佐藤一斎先生は「凡そ事をなす、すべらく天につかふるの心あるを要すべし。人に示すの念あるを要せず」と言っておられるが、私の祈りは、こうした気持ちで、やれるだけのことをやり、天に祈ることで、そう言う際の心の不安を和らげ、希望に力を加えるのである。

そんなあてにもならぬことを祈って何になるのかと言われる方もあるかもしれないが、それは理屈で、少なくとも私は、祈ることによって落ちつきを得、かなたに光明を見いだすのである。

祈るという言葉にはいろいろの面があり人によって相当違うであろうが、私の祈り、特に仕事への祈りとは、自らやれるだけのことをやりながらも、なおそこに多少の不安があるような場合、どうぞうまくいくようにと天に向かって願うことである。

「苦しい時の神頼み」とは昔からいわれているが、これにはどうも真剣な自主的努力が足りないような響きがあり、私の祈りとは少し趣を異にしている。私の仕事への祈りでは、まず自らの最善の努力が基礎になっており、やれるだけのことをやらずに頼むということは、私の最も嫌うところである。

### 夢と情熱

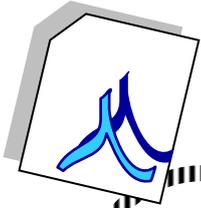
残念ながら私は、生涯を通じて自信というものはついに持つことのできなかった人間であります。しかし夢をみながら、それにひたむきな情熱を注いで進むということはできました。それが今日までの私の生涯です。

もともと自信を持てばそれに越したことはないかもしれませんが、しかし自信はなくとも燃える情熱と実行さえあれば必ずことは成るのであります。

自信の持てる人は持ったら良いと思います。かといって安っぽい自信や鼻先の自信は、どうも危ないような気がしてなりません。

努力と実行という裏付けのない自信は、むしろ有害無益のような気さえいたします。

私は自信を持てませんから、自信のかわりに夢と情熱、それに絶えず祈りを持ってやり続けてきました。



## 中江 藤樹 (江戸時代の陽明学者)

- |                  |  |
|------------------|--|
| 1608年3月7日(慶長13年) | 近江国高島郡の農家・中江吉次の長男として生まれる。  |
| 1617年            | 9歳の時祖父(米子藩加藤家の藩士)中江吉長の養子となる。   |
| 1622年(元和8年)      | 祖父吉長死去。15歳で家督相続。   |
| 1624年(寛永元年)      | 京都から来た僧に「論語」を学ぶ。後、「四書大全」を学び「孝」の大切さに接した。  |
| 1627年            | 初めて、門人たちに「大学」を教える。   |
| 1628年            | 「大学啓蒙」という本を著す。   |
| 1634年(寛永11年)     | 27歳で脱藩。故郷の小川村に帰る<br>酒を売り米を貸して生計をたてる。<br>「藤樹書院」という私塾を開く。                                |
| 1637年(寛永14年)     | 30歳で伊勢亀山藩士の娘(久子)と結婚。塾生増加。<br>「王陽明全集」に接して陽明学を重んずるようになる。                                 |
| 1641年(寛永18年)     | 熊沢蕃山門人となる。蕃山は後に池田藩で重用される。<br>藤樹は単に聖人の道を教えるのではなく、弟子の育成に全力を尽くし、人間性を含めて「近江聖人」と呼ばれるようになった。 |
| 1648年8月25日(慶安元年) | 死去 享年41歳   |

## オススメの BOOK



### 「八本目の槍」

作者 今村 翔吾 出版社 新潮社

不思議な物語である。  
豊臣秀吉が柴田勝家と「賤ヶ岳の戦い」で覇権を賭けて争った時に、7本の槍が目覚ましい武功を打ち立てた。秀吉の小姓組の面々である。  
虎之助・市松・助右衛門・佐吉・孫六・陣内・権兵衛等の多くが大名となり揺るぎない地位を確保してゆくが、秀吉亡き後は、それぞれが違った道を歩むこととなる。  
石田佐吉(石田三成)は遠大な構想のもと徳川家康と対峙してゆくが関ヶ原の戦いに敗れ散ってゆく。  
しかし、佐吉の同僚に対する思いなど熱く語られている。

## 他車運転特約について知っておこう！(続編)

友人や他人の車を借りてドライブに行ったり、車の修理中に代車を利用した場合、事故を起こしてしまうと先方に迷惑が掛かってしまいます。翌年の保険料が高くなり今後の付き合いにも支障が出るかもしれません。そのような時に「他車運転特約」があれば、他人の車を運転中の事故でも補償してもらえます。

但し、運転中の事故のみの補償となります。運転中の定義とは次の通りです。

- ・運転するためにドアを開閉したり、エンジンをかけている間
- ・走行中
- ・走行中の信号待ちや渋滞、踏切での停車中

それでは、補償される場合とされない場合を見てみましょう。

①借りた車を壊してしまったが、自分の自動車保険に車両保険がない場合（または契約のタイプにより使えない場合）

自分の車両保険がなければ、借りた車の損害を補償できません。また車両保険があっても、単独事故を補償しないタイプの契約で単独事故を起こした場合は特約が使えません。

車両保険については、契約車両の時価となりますので、借りている車が高級車だと保険金額が足りなくなってしまう恐れがあります。

例えばコンパクトカーで契約していて車両保険の設定が100万円。借りている

車が300万円のセダンの場合、事故を起こして全損になった場合、保険金は100万円しか出ないので200万円の赤字になってしまいます。

また、事故で自分自身が怪我をしてしまったら、人身傷害補償保険（搭乗中以外も補償）を契約していれば補償を受けることができます。

②借りた車で、停車中または駐車中に事故に遭った場合

走行中のみ補償とする保険会社が一般的です。信号待ちしている時や踏切で電車の通過待ちをしている時にぶつけられた事故はあくまで運転中に一旦停止しているだけなので「停車中・駐車中」とはみなされません。一方、荷物を降ろすために一時的に停車している時や高速道路のサービスエリアに駐車している時にぶつけられてしまった場合は対象になりません。

③「一時的」とは言えない利用の場合

借用期間を特に定めなかった場合には、一時的に車を借りているとは言えません。長く借り続けて乗っている場合は、自分の自動車と実質的に変わらないので、自分で自動車保険に加入するのが筋です。

他に使えないケースとしては、酒気帯びや危険運転、無免許、会社の車で業務中、所有者等の許しを得ていない無断借用も該当します。あくまで一般的な借り方のみが対象となります。

誰が対象となるのか、どんな場合が対象となるのか、どのような補償を受けられるのか少しでも知ることによって万全な補償を！



長嶋・王がヒマワリなら自分は日本海  
の海辺に咲く月見草



### 【編集後記】

野球監督・評論家の野村克也(84歳)がお亡くなりになった。

1954年公立高校からテスト入団し、3年で正捕手となり、本塁打王9回、打点王7回、戦後初の三冠王に輝いた。戦力外選手の育成にも定評があり「再生工場」と呼ばれた。比類なき研究心でデータを重視するID野球を実践した。「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議のまけなし」を好んで口にした。

巨匠のご冥福を祈りたい。